

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅰ

教科：芸術

科目：美術Ⅰ

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年

教科担当者：玉井 康代

使用教科書：（ 日本文教出版 『高校生の美術 1』 ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図にもとづいて表現するための技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術Ⅰ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
造形的な視点を豊かにするため、幅広い知識を深め、表現における創造的な技能を身に付けるようにする。	表現における発想や構想の能力、鑑賞における価値意識を伴った見方や感じ方の能力を相互に関連して高めていけるようにする。	学習に主体的に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情や豊かな感性を育むとともに、美術を通して生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ	鑑 賞					
1 学 期	オリエンテーション 鑑賞	【指導事項】 ・美術の授業について ・年間授業計画の説明 ・教科書に掲載作品の鑑賞 【教材】 ・教科書 ・参考資料 ・プロジェクトー拡大画像				【思考・判断・表現】 「鑑」作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「鑑鑑」美術や美術文化に関わる中で、創造性を駆使して表現された作品の、鑑賞・創造活動に主体的に取り組もうとしている。				1
	メッセージを広く伝える<園芸展ポスター> 【知識及び技能】 目的や計画を理解し、伝えたい内容にふさわしい表現方法を考え、創造的にあらわす。 【思考力、判断力、表現力等】 主題をもとに、効果的な表現形態や文字の配置、構成、配色などについて考え創造的な表現の構想を練る。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫などについて考え鑑賞の創造活動に取り組む。	【指導事項】 ・ポスターの役割について考える ・表現方法を考える ・ターゲットを考える ・水張り方法 ・紙の種類 ・着色材料等の種類 ・筆の種類 ・構成と構図 ・文字の種類、表現方法について ・色彩について ・さし色、きき色の効果を検討 ・実技指導を重ね作品の充実度を見極める ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う 【教材】 ・教科書 ・資料プリント ・パネル等水張り一式 ・着彩用具一式				【知能・技術】 「知」配色や構成などの造形的な特徴などをもとに、効果的な伝達のデザインを全体的に理解している。 「技」意図に応じて材料や用具の特性を生かす。表現方法を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 「発」主題を生成し、効果的な表現形態や文字の配置、構成、配色などについて考え創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」メッセージを伝えるデザインの目的や機能理解し、表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」主体的にメッセージの内容や伝える相手について考え、効果的に内容を伝えるデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている。 「態鑑」主体的にメッセージを伝えるデザインの目的や機能を考え、効果的に伝える工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。				15
2 学 期	立体表現<石彫> 【知識及び技能】 彫刻の形体、量感や質感、動勢やマッサなどの造形要素等について理解し、材料や用具を活用しながら創造的な表現の構想を練る。 【思考力、判断力、表現力等】 構成、質感などの表現を工夫し、主体的に主題を追求しながら心の中の感情を表すイメージの構想を練り、創造的に表現したり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 新しい視点で主体的に見つめる姿勢を醸成し、作者の心情や表現意図と表現の工夫などの感じ方を深め、創造活動に取り組もうとする。	【指導事項】 ・彫刻の美の要素 ・彫刻の表現と材料の種類 ・主題の生成 ・材料・用具の特性・使用方法 ・制作工程 ・構想を練る ・作品の充実度を見極める ・台座の工夫 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う 【教材】 ・教科書 ・DVD ・資料プリント ・ペーパーグラフィート用具一式				【知能・技術】 「知」形・材質から伝わる特性を自分なりに分類でき、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて材料の特性を生かすとともに、立体であらわす表現の方法を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 「発」質感や量感、動勢などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」主体的に彫刻の調和や効果について、感じ取ったことや考えたことをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。 「態鑑」主体的に彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。				10
	版を用いて表現<エッチング> 【知識及び技能】 生徒自身の活動した痕跡を残すという視点から、凹版の方法、技法について理解し、版画の特性を生かして創造的に表す。 【思考力、判断力、表現力等】 凹版の特徴からどのような表現が可能か、イメージを膨らませて主体的に主題を生成し、自身の「美の在り方」の理想を追求するために構想を練ったり鑑賞したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に計画を立てることで見方や感じ方を深める創造活動に取り組もうとする。	【指導事項】 ・版画の種類 ・凹版の中のエッチングの特徴 ・エッチングの手順 ・道具の種類、扱い方 ・転写の手段 ・製版方法 ・作品の充実度を見極める ・印刷方法 ・版を重ね、納得するレベルまで高める ・版画におけるサインの入れ方、ルールについて ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う 【教材】 ・教科書 ・資料プリント ・銅版画用具一式				【知識・技能】 「知」凸版、凹版、平版、孔版等の方法、技法について、それぞれ特徴など、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」自分の意図や表現対象に応じて、表現方法を創意工夫して主題を追求し、創造的に表している。 【思考・判断・表現】 「発」凹版の特徴から、どのような表現が可能かのイメージを膨らませて主体的に主題を生成し、表現の構想を練っている。 「鑑」版画による表現のよさや美しさを感じ取り、表現者が何を表そうとしたのか、見方や感じ方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」自分の「何を」「どのように」痕跡を残すことができるのかを思考し、それに合わせて主体的に表現に取り組もうとしている。 「態鑑」作品の鑑賞を通してよさや美しさを感じ取り、鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。				8
3	想像した世界を描く<油彩> 【知識及び技能】 想像した世界をあらわすことに関心をもち、主題を生成する。用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわす。 【思考力、判断力、表現力等】 夢や想像、自己を見つめて感じ取ったことや考えたことなどから表現の構想を練り工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的表現の創造活動に取り組む、作品	【指導事項】 ・想像した世界をあらわすことに関心をもち、現実にはない不思議なことを想像することから主題を生成する。 ・主題をもとに、形や色、構図などの構想を練る。 ・油彩道具の特徴と扱い方について ・あらわしたいイメージをもとに材料や表現方法を工夫して制作する。 ・納得するレベルまで完成度をたかめる。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。				【知識・技能】 「知」形や色などがもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、想像した世界を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「技」材料や用具の特性を生かすとともに、表現を工夫し、主題を追求して創造的にあらわしている。 【思考・判断・表現】 「発」夢や想像、自己を見つめて感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」想像した世界を描いた作品の作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。				10

[illegible]